

(指定様式)

## 団体調書【はじめての一步部門】

### (1) 団体概要

団体名	ブルボン Burupon	HP 等 URL	<a href="https://www.instagram.com/burupon2021/">https://www.instagram.com/burupon2021/</a> <a href="https://www.facebook.com/Burupon.2021">https://www.facebook.com/Burupon.2021</a>
団体種別と 設立年月	<input type="checkbox"/> NPO 法人( 年 月) <input type="checkbox"/> その他法人( 年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 任意団体(2021年 7月)	活動分野	3. 5. 6. 7. 13
代表者名	役職名: 共同代表 氏 名: 吉田 禎	会員数	23 名
団体連絡先 (申請担当者)			

### (2) 会員名簿

--

### (3) 団体の活動目的

活動の目的・目標	里山の資源と市内の若い世帯を繋ぎ「子どもたちが生きる地元の未来を創ること」「人々の心を豊かにすること」をミッションに活動する任意団体です。2022年に山村条例が制定されるなど山村の価値が見直されてきている中で、豊田市の70%を占める森林の課題について、市内の木材加工技能を有している者が中心となってその課題に当事者意識を持ち取り組もうと考えています。その解決策として豊田市産の木材や森林課題を市民の方に身近に感じて貰う活動や豊田市産材で新たな価値を生み出す活動を計画しています。これらを通じて持続的な山村地域の発展や活力向上に繋げていくことを目標としています。
----------	--

<p>活動の内容・活動実績</p>	<p>【豊田市産の木材や森林課題を市民の方に身近に感じて貰う活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しもやまスポーツクラブイベント(11月20日)でのワークショップ 「スポーツ×ものづくり」で森林資源や地元に興味を持ってもらえた</li> <li>・WELOVEとよたフェス(3月5日)でのワークショップ 田畑の事業紹介も出来、新規メンバーの加入もあった</li> </ul> <p>【豊田市産材で新たな価値を生み出す活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「愛着」「地産地消」をテーマとして創作活動(商品試作、販売)</li> <li>・2021年 地元アスリートへの豊田市産桜の聖火トーチケース製作</li> </ul> <p>【SNSを活用した普及活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体 SNS ページ作成、発信(2023年4月現在フォロワー約300人) 広報メンバー(インフルエンサー)による効果的なPRを推進中</li> </ul>
-------------------	--

(4)補助金の使用用途と活用する活動・事業内容など

<p>【ワークショップ開催に必要な費用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料費:ワークショップ使用木材料⇒1万円</li> <li>・消耗品費:サンドペーパーや接着剤、体験用の彫刻刀等⇒2万円</li> <li>・備品費:材料準備に必要な電動工具(ドライバードリル等)⇒4万円</li> </ul> <p>【創作活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料費:豊田市産材料購入費(豊田森林組合より購入予定)⇒1万円</li> </ul>
---

(5)審査項目毎にアピールしたいこと

<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会課題に対して、団体の活動目的が明確となっているか。(趣味や娯楽、特定の個人や団体の利益が目的となっていないか)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の世帯(関係人口)が主体となり中山間地の課題解決に取り組む一貫の活動の一つとして森林資源の活用を行う。 (地域活動人材の不足を解決) ※その他の取り組み事業として「農・里山体験」を活動中 協力:おいでん・さんそんセンター、新盛里山耕実行委員会、トヨタ自動車労働組合</li> <li>・関係人口、市内の若い世帯の感覚やものづくり大会出場経験(技能五輪世界大会出場)や職業訓練指導員の経験を活かし、森林資源の価値を盛り上げられる体験等を実施していく</li> </ul>
<p>【資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の自主的な財源を確保しようとしているか(会費・参加費等)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ参加費(ものづくり創造拠点 SENTAN、森林組合、さんそんセンターに協力してもらい積極的にワークショップの開催、募集):500円×10人×4回/年</li> <li>・メンバー会費:3000円×5人</li> <li>・創作品のイベント等での販売</li> </ul>
<p>【継続性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の組織的な活動ができる体制が整っているか。</li> <li>・適正な事業計画が作成されているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン2回/週で戦略会議</li> <li>・ものづくり創造拠点 SENTAN 入居</li> <li>・SNSを活用した情報共有、発信</li> <li>・現在新盛町の耕作放棄地を再生し農体験事業を進行中</li> </ul>